

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	独立行政法人国立病院機構 兵庫あおの病院		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 3日		2024年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 3日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者に対するアセスメントとをともに、一人ひとりの発達や特性、ニーズに応じた支援を提供できている	利用者の体調の変化や発達の状況について職員間で共有し、支援方法を検討している 体調を崩して入退院した後の利用の際には、登所前に医師の診察を設定している	利用者が通っている(通っていた)他の事業所や保育所、支援学校等と利用中の様子や支援内容、支援方法を共有し、成長発達を促せるよう努める
2	家族と日ごろから情報共有を行い、必要なケアや支援の提案を行うことができている	家族からの情報や困りごとを共有し、事業所でできることを提案したり、必要に応じて相談支援専門員へ協力を求めるなどしている	家族支援、きょうだい支援についての知識や技術を学び、家族、きょうだいへの適切な支援につなげる 児童発達支援センターからのスーパーバイズや助言を求める
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少ない	主に重症心身障害児を対象とする事業所であるため、医療的ケア、体調管理の面で配慮が必要な利用者が多く、特にコロナの影響で外部との接触を控えている	行事等での段階的な外部ボランティアの導入(再開)
2	保護者同士、きょうだい同士の交流の機会が持てていない	コロナの影響で、家族参加の行事を控えていたため、交流の機会が減った	家族参加の行事と併せて、保護者同士、きょうだい同士が交流できる機会を設けられるよう企画・立案する
3			